

# 1 回生 井崎信也さん (佐賀市出身)



日本の未来を見据えて

今できることを…

1990年 3月 弘学館高等学校卒業  
1994年 3月 東京大学農学部卒業  
1994年 4月 建設省入省  
2003年 7月 内閣官房へ出向  
2006年 7月 英国ケンブリッジ大院修了  
2006年 8月 岐阜県都市政策課長  
2015年 8月 国土交通省都市政策課長  
2015年 12月 京都大学客員准教授就任  
2017年 8月 国土交通大臣秘書官

(2019年1月現在)



訪問先のワシントンD.Cにて

## 井崎信也さんのとある一日

8:30 閣議の随行  
8:45 大臣記者会見  
9:00 国会審議  
13:00 省内部局との打ち合わせ  
15:00 県知事からの要請  
17:00 外国の大臣との会談  
20:00 翌日の視察に向けて被災地入り

## 努力には限界がないことを 知った「弘学館」時代

弘学館では、なんといっても寮で友人たちと一緒に過ごした時間が自分にとっての財産となっています。特に入寮当初、自分の常識を遥かに超える時間、勉強に集中している友人を見て、自分の甘さを思い知らされました。

私自身は残念ながら高校時代にはっきりとした将来の夢、目標を持っていませんでしたが、弘学館の環境の中で勉強に打ち込んだことで、その後、幅広い選択肢の中からやりがいのある仕事に就くことが出来たと思います。

就職後、留学したイギリスの大学院では、世界中から集まった学生が、自分の高校時代よりさらに長時間勉強に打ち込んでいる姿を目の当たりにしました。これらからは世界中のライバルも意識してより一層努力する必要があると思います。

## 安全・安心で暮らしやすい 国を目指して

大学卒業を控え将来の職業を考える中で「公（おおよけ）のために仕事がしたい」と思い国家公務員を志望しました。

入省後は、内閣官房や内閣府、地方公共団体など様々な場所で色々な経験を積んできました。

現在は国土交通大臣を直接支えるスタッフとして、相次ぐ災害・事故への対応、国会での議論のサポートなどの仕事を担当しています。

かつてないスピードで変化する世界の中で、我が国は人口減少や高齢化、頻発・激甚化する災害など様々な課題を抱えています。

将来世代の皆さんがより暮らしやすく希望にあふれた世の中となるよう、想像力を働かせて必要な制度の見直しやプロジェクトの立案を行うよう心がけています。

## 後輩へのメッセージ

あとで後悔しないように中学・高校時代にできることに精一杯打ち込んで下さい。将来の夢・やりたいことが決まっている人はもちろんのこと、まだ決まっていない皆さんこそ、勉強にも打ち込んでもらいたと思います。中学・高校時代の勉強というものは、将来、社会に出て役に立たないことはありません。世界の若者は皆さんの想像を遥かに超える勉強・努力をしています。皆さんも負けずに様々なことを存分に吸収してもらいたと思います。